



ました。調査の結果、用水路を中心にメダカやタイコウチ、ヌマエビなどの生息が確認されました。

子どもたちの中からは、多数の生き物が確認されるたびに歓声が沸き起こり、「絶滅すると言われている貴重なメダカが大崎にいて、やっぱり自然は大事なと思った。」などと話していました。

※レッドデータブック

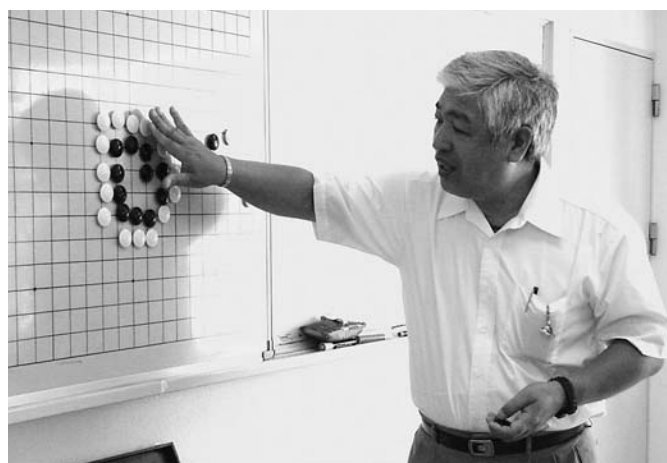
＝絶滅の危機にある野生生物の現状を記録した資料集

『農地・水・環境保全 向上対策事業』を実施

8月5日(日)、大崎町・長田地区保全協議会の飯隈・飯隈上・平良の3自治公民館の親子会が、同地区内の益丸用水路で生き物調査を実施しました。

同地区は、地球上から絶滅が危惧されているメダカやコガタノゲンゴロウなど、環境省及び鹿児島県レッドデータブックに登録されている希少生物が生息している貴重な地域です。

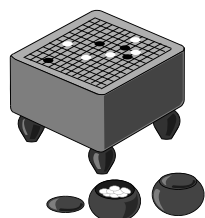
今回の調査は、親子会活動の一環として、親子で農地や環境の保全について関心を高めることを目的に、3自治公民館の小・中学生、保護者の約40人が参加し



出された問題を真剣に考えていました。

始めは、すぐにわかる子どもと、なかなか正解が出ない子どもといましたが、要領を覚えると、すらすらと問題を解くようになっていました。

3日目には全員で対局し、会場となった中央公民館には、歓喜の声がこだましていました。



『キッズセミナー碁碁教室』が開講

2008年10月に開催される、「ねりんピック鹿児島2008」(大崎町では碁碁大会)と合わせて、大崎町教育委員会社会教育課が毎月行なっているキッズセミナーで、「碁碁教室」が開講しました。

夏休み期間中の3日間で行なわれた教室は、町内の小・中学生、約70人が参加しました。講師には菱田小学校の町田校長先生が、碁碁の基本から戦術まで、幅広く、丁寧に教えていました。

初めて触る碁石をじっとにらみつける子どもたちは、ツルツルとすべる碁石を小さな手でつまみ、先生から

